

被災地支援に係る追加情報

(3月18日時点の環境省からの連絡に基づく)

平成23年3月25日

1. 被災地の状況

- ①物資輸送路が徐々に確保されつつある状況。
- ②動力源である燃料（ガソリン、軽油、重油等）も徐々に地元で確保されつつある状況。
- ③ライフラインの復旧が遅れており、電話やインターネットが使えないところもある。
- ④被害の大きい市町村が多く、災害対策本部が機能していないところが多くある。このため県が本部となっているが、現場状況の把握が十分でない。

2. 具体的支援に当たって

- ①支援に要する人員、資・機材は、支援を行う全清連の経費負担で行うこととなる。
- ②被災地の状況から、宿泊及び食料の確保については、支援を行う全清連自らの対応となる。（電気、ガス、水道等の利用については、事前に環境省、当該県災害対策本部及び派遣先市町と確認が必要。）
- ③被災地では、燃料の確保が難しい状況にあったが、3月23日現在のマスコミ情報では、燃料については徐々に改善しつつあり、3月末時点では、ほぼ回復の見込みとのこと。但し、②と同様、派遣先市町に確認が必要であり、場合によっては予備燃料の持参が必要ということもありうる。
- ④緊急通行車両確認標章の交付申請手続きについては、別途全清連本部事務局通知の通り。

3. 支援の決定について

被災自治体→各県災害対策本部→環境省

という流れで、支援先決定の連絡があるので、まずもって支援体制の確立に取り組むこととする。（*支援先については、原則、支援団体と相談の上決定する）

以上

—追加版—

支援派遣に当たって現地の状況 (3/24 環境省対策本部から)

<現 状：県・市町により進行の違いは出ているが…>

1. 現在優先している活動は、救助者探し・遺体収拾・遺品探し。
2. 私物財産権問題？の法律的措置待ち(車、建造物、船、遺品、高額品等)。
*早ければ来週頭(月曜)。これが解決すれば以降進んでいくと思われる。
3. 集積所探し(1番は仮設住、その次)、支援活動を受入れる環境整備中。
*早い市町も在る。陸前高田市・山田町が早いかな？
4. 一部、影響の無い物は大型残骸物の整理・処理作業に入っている。
5. 一部、し尿処理は行っている(衛生上、生活面)。
6. 支援派遣先の決定は、支援団体の意向を重視して依頼する(原則)。

<所 感>

1. 自治体・県・各省庁(中央・地方事務所)連携で取組み(問題が多く遅々としての感 *今、マニュアルを3者一緒に作成中とか。)
2. 支援受入れの時期についてハッキリと言えない状況からして4月に入る。Q「早くて、1週目(4/5)頃か(4/10)頃か」…うなずく感じ。
3. 全清連として“1ヶ月間の支援体制を組み”明日、理事会で確認する事を伝えた。

*近い派遣時期を予測して、兵站準備の体制を整える！